

♣ 3 年理数科代表「令和 2 年度 SSH 生徒研究発表大会」を一次審査通過しました。

例年、神戸市国際展示場で実施される「スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会」は今年度初めてオンラインによる 1 次発表(Youtube で 5 分の動画とポスター提示)となりました。(8 月 7 日～8 月 28 日)

本校は昨年に引き続きサイエンス部アリ班が生物分野IV(動物・医学)で研究「沖縄島南部海岸林と中北部海岸林のアリ分布比較」について発表し、33 校中 **9 校に選ばれました**。(SSH 指定 2 年目で、全国レベルに到達しました!!)



【2 次審査の様子】

2 次審査は 8 月 17 日(オンラインによる口頭質疑応答)が行われ、本校代表の 3 年生はインターネット越しに専門家による質問を的確に答えていました。残念ながら最終発表校やその他表彰校には選ばれることはなかったことから、次年度は更に上位を目指し、レベルの高い研究をめざします。

♣ 集まれ理系女子 第 4 回九州大会 オンライン大会へ視聴参加!

去った 9 月 19 日「岡山県にあるノートルダム清心女子高」が主催する「集まれ理系女子九州大会」へ希望者 23 名が参加し、岐阜高校のヤマトサンショウウオの研究発表や南九州大学教授によるアカハライモリの繁殖戦略などの講義など、多くの両生類の研究について視聴し学習しました。

本校サイエンス部も「シリケンイモリ(沖縄固有種)」を卵から孵化させ生存 6 年目になる個体などを継続研究しており、他県の先進的な両生類の研究発表や専門家の講義を聴講できたことで、素晴らしい刺激を受けました。

今年はコロナ感染防止のため、他校との交流機会もほとんど無い中「オンライン形式での発表会」が増えていくことは逆にチャンスと捉え活用できたらと考えてます。



◆ 沖縄科学技術教育シンポジウム(オンライン発表会)に多数応募し、発表しました。

例年、琉球大学で実施される「沖縄科学技術教育シンポジウム」9 月 14 日～28 日に理数科 2 年生の授業「SS 課題探究 I」で取り組んでいる研究を多数応募し、ネット上で発表を行いました。

良かった点は、昨年までは、サイエンス部で取り組んだ研究内容を中心に発表してきましたが、今年は授業で取り組んだ研究が、数多く参加出来るようになってきたことです。

★主な参加作品と参加者 [授業での取り組み 9 作品 30 名・サイエンス部 1 作品 3 名]

数学分野 「反射の数学」「完全数のすべて」「VR 酔い解消法を探る」

物理分野 「自作の音力発電機について」

化学分野 「海藻の持つ保水力」「汚れの落ち方」「プラスチック」「シークワサーに含まれるポリメトキシフラボノイドの量が状態によってどう変化するか」

生物分野 「沖縄島南部海岸林と中北部海岸林のアリ分布の比較」「外来爬虫類の捕獲と活用」